

固定資産税課長
資産税課長
課税課長 殿
税務課長
税制課長
県(市)税事務所長

日経東発第60018044・60018045号
令和4年3月10日

オンライン参加可能

一般社団法人 日本経営協会
理事長 岡島 芳明

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

～家屋評価演習シリーズ～

家屋評価の仕組み「木造家屋の評価の基本実務」

～新任担当者が一番はじめに学ぶ固定資産評価基準から評価計算まで！～

<令和4年7月14日(木)・15日(金)>

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本会事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

固定資産税は土地、家屋及び償却資産に対し、原則その価格を課税標準として、その所有者に課せられるものです。課税標準の基礎である価格は適正な時価であるとされており、固定資産評価基準によって納税者に税負担を求める基礎となる評価額を決定するものであり、適正、公平な評価計算しなければなりません。

しかし、家屋評価については、評価計算が複雑かつ理解しづらく、評価額の算出誤りも多々起こります。また、特殊な状況に関しては、自治体内部の者だけでなく納税者に対して説明責任を果たすことが、最低限の理解と信頼を得ることにつながります。

そこで本講座は、家屋評価の仕組み、事例家屋の評価計算を解りやすく解説いたします。

公務が多忙の折とは存じますが、この機会に関係者多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

～ 事例で学ぶ家屋評価演習 ～

- 短時間で、木造家屋の仕組みについて要点をしっかりと解説します。
- 平面図、立面図、矩計図、仕上表により拾い出しをします。
- 事例家屋の評点付設、補正計算を手計算にて算出します。
- 納税者への説明責任を果たす力をつけ、評価計算が出来るよう解説します。

講座の
ねらい

記

日 時：令和4年7月14日(木) 12:30から受付
13:00～17:00
7月15日(金) 9:30～16:30

講 師：税理士 小川 正己氏

参加方法：[会場参加] 日本経営協会内専用教室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8)
[オンライン参加] ZoomによるLive 配信

参加料：会員(1名) 31,900円(税込)
(負担金) 一般(1名) 35,200円(税込)



<会場案内図>

申込方法：①Web申込…本会ホームページからセミナー名を検索していただき、お申込み下さい。(オンライン参加の場合はできるだけwebからお申込み下さい)

- ②FAXまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、事務局までお送り下さい。
- ・セミナー開催日の約1か月前より順次、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
 - ・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。
 - ・お申込みは5営業日前までをお願いいたします。
 - ※定員になり次第締め切らせていただきます。受付状況は本会ホームページからご確認いただけます。

キャンセル：お申込み後、キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。
開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は100%をキャンセル料として申し受けます。ただし、オンライン参加の場合は、講座テキスト資料の到着後のキャンセルについては参加料100%を申し受けます(講座1週間前程度から発送開始)。

その他：参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

オンライン参加での留意事項

- ・オンライン参加の場合、セミナー実施3営業日前を目途に、ZOOM ID等をメールにてお知らせいたします。
- ・お申込みをいただいた参加者のみご受講をお願いします。お申込みをいただいていない方の配信閲覧は堅くお断りいたします。

お申込み
お問合せ先



一般社団法人 日本経営協会

(お問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いいたします)

本部事務局 企画研修グループ

〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

TEL(03)3403-1891(直) FAX(03)3403-1130

E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

▶プログラム◀

I 固定資産評価基準第2節木造家屋

- 1 評点数の算出方法
- 2 部分別による再建築費評点数の算出方法
- 3 比率による再建築費評点数の算出方法
- 4 在来分の木造家屋に係る再建築費評点数の算出方法

II 木造家屋評価実務

<部分別の解説(屋根～その他工事まで)>

- 1 屋根(和小屋組、洋小屋組について)
- 2 基礎(基礎工事の種類について)
- 3 外壁仕上
- 4 柱・壁体
- 5 内壁仕上
項目別評点方式・総合評点方式
- 6 天井仕上
項目別評点方式・総合評点方式
- 7 床仕上
項目別評点方式・総合評点方式
- 8 加算評点項目
- 9 建具
- 10 建築設備(項目別評点方式・総合評点方式)

11 建築設備(加算評点項目)

- (1) 電気設備
- (2) 給水・給湯設備
- (3) 衛生設備
- (4) 冷暖房設備
- (5) 換気設備
- (6) 運輸設備

12 仮設工事

13 その他工事

- (1) 雑工事
- (2) 階段
- (3) バルコニー
- (4) 床間

III 補正計算(項目別補正計算)の方法その他

- 1 屋根(勾配の大小・軒出の大小)
- 2 外壁(開口率の大小・階高)
- 3 柱・壁体(室数の多少・開口率の大小・階高)
- 4 内壁(間仕切りの多少・開口率の大小・天井高)
- 5 加算評点項目(標準評点数の算出)
- 6 建築設備(総合評点方式の施工量の多少)

IV 評価演習(木造家屋専用住宅)

立面図、平面図、矩計図及び調査確認事項により一棟の再建築費評点数の算出

持参物

- ①電卓
- ②R3基準年度 単位当たり標準評点数の積算基礎
(固定資産税務研究会編/一財)地方財務協会刊)
- ③R3基準年度 固定資産(家屋)評価基準・再建築費評点基準表
(固定資産税務研究会編/一財)地方財務協会刊)
- ④三角スケール

講師紹介

税理士 小川 正己 氏

2005年3月 東京都を退職

同年7月 小川正己税理士事務所を開設

～家屋評価シリーズ～講座開催案内

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| 7月14日～15日 | 家屋評価の仕組み「木造家屋の評価の基本実務」 |
| 9月26日～27日 | 【A】非木造家屋の評価基礎実務演習(不明確計算)初級 |
| 9月28日 | 【B】軽量鉄骨造(居宅)ハウスメーカー建物の評価 |
| 10月17日～18日 | 小規模非木造家屋の評価演習 |
| 11月14日～15日 | 【第I部】非木造家屋の評価演習～工事見積書の読み方・分析と評価計算の理解～ |
| 11月16日 | 【第II部】区分所有家屋の区分計算演習 |
| 12月5日～6日 | 家屋評価実務～見積書の分析及び設計図書からの拾い出し～ |

講座申込み：FAX (03) 3403-1130

60018044・60018045 『家屋評価の仕組み「木造家屋の評価の基本実務」』参加申込書

※NOMA記入

会場参加 オンライン参加 (該当欄にレ印)

令和4年7月14日～15日

会員 一般(該当欄にレ印)

役所名	所在地	〒	
ご連絡担当者 所属・役職 氏名	TEL	FAX	
	e-mail	※オンライン参加の場合はZOOM IDをお送りします。メールアドレスを必ずご記入ください。	
フリガナ 参加者氏名	所属部課 役職名	経験 年数	年 ヶ月 <連絡事項欄>
フリガナ 参加者氏名	所属部課 役職名	経験 年数	年 ヶ月 (経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください)

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会通信教育などのご案内 ③がご不要の場合は□にチェックしてください。□不要